

お知らせ

十月例会

期日…立教 187 年 10 月 25 日
時間…15 時 30 分受付 16 時開始
会場…教庁 4 階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

教区

- 岡山 10 月 2 日 10 時〜 教務支庁
- 佐賀 10 月 2 日 13 時〜 教務支庁
- 神奈川 10 月 5 日 13 時〜 教務支庁

報告

八月例会

去る 8 月 25 日、教庁 4 階講堂において「8 月例会」を開催。出席は 24 教区、89 直属。

業務記録

《立教 187 年 8 月 16 日〜9 月 15 日》

- 8 月 16 日 事務局連絡会
- 24 日 担当者活動部部会
- 25 日 委員会 例会
広報室会議
まなびば研究室会議
- 9 月 6 日 学修部部会
学生連絡会
- 7 日 学修係員チーム会議
- 8 日 学生部部会
春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議
- 9 日 委員会
- 10 日 学修大学の部研究室
- 12 日 まなびばチーム会議

学生担当者報10

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉

TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

Vol. 452
立教 187 年
2024 年
9 月 25 日発行



「学生担当者大会に向けて」

暑さ寒さも彼岸まで、と申しますが、厳しい夏の暑さも少しずつ和らぎ、季節は動いているのだなと感じさせてください。さも少しづつ和らぎ、季節は動いているのだなと感じさせてください。

少し前のことですが、ある直属の奥様からこんなお話を聞かせていただきました。「私たちが若い年齢になってくると、月日が経つのを早く感じますよね。それも年をとればとるほどに早いように感じる。そう感じるのには、実はいろいろなことを既に経験していて、その経験を毎日繰り返しているからなんです。反対に、例えば幼稚園や小学生の頃、1年がものすごく長く感じたのは、それは毎日が初めて体験することばかりの新鮮なことであふれていて、その中で一生懸命生きているから長く

感じるんだそうですよ」

第十六期学生担当委員会が発足してから、今月でちょうど 2 年になります。今まで体験したことのないご用を務めさせていただいたこの 2 年は、確かにいつもよりも長かったように感じます。

一昨年、委員会発足後すぐの学生担当者大会において、「前期 3 年は丸々コロナに翻弄された 3 年でございました。…今度はそこからの再出発、スタートであります。今年度は丸々教祖百四十年祭の年祭活動に当てはまる 3 年任期になります」と、表統領先生はお話くださいました。また清水委員長は挨拶の中で、「私達はこの 3 年間、丸々年祭活動として取り組ませていただける 3 年間であります。同じ学生層育成を担う者として、是非この 3 年間、学生層育成のご用をもう一つの年祭活動として、共に、お道の人らしい明るい心

青空

「学生層育成の魅力は？」と聞かれると、しばらく考えこんでしまいます。学生層育成のご用は、それだけ一筋縄ではいかないことだと感じているからです。学生たちが行事を企画する際に、「来てくれた学生が一人になって寂しい思いをしないように話しかけよう」など、参加する人のことを第一に思っていると思います。これは素晴らしい行事になるなと思っていて当日を迎えると、あれもこれも準備ができていない、「みんなを楽しませるにはまずは自分が楽しむ」という言葉を勘違いしていたりなど、想像と現実が違うことがよくあります。それもそのはずで、学生たちがみんなそれらを最初からできていれば、もっと学生会は盛り上がりつつあるはずで、そんな時にこそ学担が必要で、学生と同じ目線に立って、いつもは優しく、たまに厳しく声を掛けて、学生に気付いてもらうチャンスを作ること、これが大事だと思うのです。

学生という期間は短く、入れ替わりが激しいので、同じことの繰り返しで大変だと感じることも多く、厳しく言う、「嫌われた」と思うことも少なくありません。しかし、今度はその子が学生担当者となって、私と同じように、今のひと言は嫌われたなと思った時、それが育成の魅力だと思える瞬間です。

庶務会計部部員 中村 吉元

担当者活動部 委員

岩佐 みちの

で務めさせていただきましよう」と述べられました。

もう一つの年祭活動…。立場のご用はその重さを感じさせていただくものですが、ご用をいただいたおかげで自分自身も学ばせていただけたのだと、強く感じさせていただきます。

今年も 11 月 25 日に学生担当者大会が開催されます。今期委員会として 3 回目となる今回の学生担当者大会は、学生層育成のご用を担うお互いが一堂に会して、教祖百四十年祭に向かう三年千日の年祭活動仕上げの年に向けて、一層の決意と信念を持って心をそろえて歩ませていただくための場になるものと思わせていただきます。どうか教区、直属学生担当者の方をはじめ、学生層育成に関わる全ての方々にご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 6 年 学生担当委員会 活動方針

「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

「立教百八十七年 学生生徒修養会
高校の部」受講生アンケート抜粋

1年生

はじめは乗り気じゃなくて、不安だったけど、今は来てよかったと思うし、楽しかったです。親神様の話とかお道の話を変えて学べた良かったです。また、感謝することが大切だと学んだからたくさんの人に感謝を伝えたり、おつとめをしたりしたいです。

感謝の大切さを学んだので、ひのきしん、おつとめに感謝の気持ちを持って取り組んで日々勇んで通っていききたいです。

全然会ったことがない他県の人たちと話すのは緊張と不安があった。でも、グループタイムを通してお互いを知りあったり、協力して何かに取り組んだり、良い経験にもなった。何よりも班の素敵さから感じた楽しさがとても良かった。

2年生

今年から別席を運べるので、自分からお道の勉強をして、学んだことを一つ一つ自分の生活を良くするために活かしていきたい。

お道の話がたくさん聞かせていただいて、より天理教のことを好きになれた。この身体を使わせていただけることに感謝して過ごしたいと思いました。

本当に学修に行つて良かったと思います。楽しむだけじゃなくいろんなことも学べて、私生活にもつなげることができると思っています。人と関わる時に良いところをみてあげたり、お互いにたすけ合ったり、前向きに自分の周りの人と向き合っていきたいです。

今まで教祖殿に行くことを面倒くさいと思つていたけれど、教祖のもとへ行くことの大切さを学ぶことができたので、今後は天理に帰つてきておつとめをするたびに教祖殿まで足を運び参拝をしたいと思つた。また東京でもおつとめをできるだけ毎日やりたい。

八つのほこりを積まないようにしたいというのが今回の学修で見つけた新たな課題だと感じたので、これからの生活で頑張りたいです。また天理教に対しての考えをさらにランクアップさせて色んな考え方ができるようにしたいです。

去年よりもたくさんの人と友達になれたし、去年できなかった体験もいっぱいして良

い思い出ができました。学担の先生方から聞いたお話を通して学修に参加する前の自分の心遣いは不足ばかりだと思つたので、もっと感謝の気持ちをもって神様のご守護一つ一つありがたいと思ひながらすごしたいと思ひました。

3年生

親神様のおかげで今の自分があることを忘れて、苦しいことや悲しいことがあつてもくじけず毎日を喜び、感謝して通らせていただきたい。

3年間の中で一番盛り上がった学修だった。同年代の人の天理教の考えを聞けたり悩みについて話す中に、当り前のありがたさを今回身にしみて学ぶことができた。今後は自分の心遣いを見直していき、日常生活での喜びを見つけていきたい。

最初は緊張したけど、班のみんなのおかげで仲良くできました。いろいろなプログラムのおかげで自分自身も成長できた気がします。

お話で親神様のご恩と向き合うことができたり、これからは教会の月次祭に勧んで参加したり、日々ひのきしんに励んで、小さなことでも感謝を伝えたいです。

「立教百八十七年 学生生徒修養会
高校の部」カウンセラー感想文

私自身、カウンセラーをさせていたたくのは2度目でしたが、昨年は庶務だったということもあり、楽しみや緊張、色々な感情を抱え本期間が始まりました。

明るく素直で真つすぐに自分の思いを伝えてくれる班員さんたちのおかげで、とても良い雰囲気となり、すぐに緊張は解けました。しかし、寮での生活やグループタイム中などは、ほぼ毎日予想外のことが起こってきて、心は落ち着かず、困惑しっぱなしでした。何かあるたびに、この対応で良かったのかな？班員さんたちはどう思っているんだろう？と不安でいっぱいでした。この不安が映つてしまったのか、班全体の雰囲気が悪くなつていたのでと感じた瞬間もありました。

そんな心配をよそに、班員さんたちはいつも笑顔で、それに救われ、また、同時に気持ちもありました。

私は、しんどい時や大変な時にどうしても視野が狭くなつてしまい、それしか考えられなくなつてしましますが、そんな時こそ少し視野を広げて周りに目を向けてみると、どん

な状況でも、そばには喜びがたくさん転がっているんだということに気付きました。

振り返れば、本期間中に班員さんやスタッフのみなさんにたくさん頼らせていただいて、何度も助けられたことがありました。それを通して、どんな時でも親神様・教祖にもたれていれば、何があつても大丈夫！と思つることができ、どんなことが起こつても楽しみ喜べたように思います。最終日には、涙を流して別れを惜しむ班員さんの姿を見て、この班で良かったと心から思えました。

今回の学修では、起こってくる出来事や、その度に誰かが掛けてくださる言葉などを通して、自分自身を見つめ直し、2年生のテーマでもある自分と向き合うきっかけを与えていただいたなど実感しました。そして何より、全員そろつて最後まで通りきれたことが本当に嬉しく、ありがたい5日間でした。この期間のたくさんさんの気付き、学びをこれからの日々に活かしていきたいです。

学生の集いまなびば 10月開催一覧

教区	日時	会場	会場責任者	連絡先
三重	10月5日13時～ 6日13時30分	教務支庁	井上治	0596-28-4852 (教務支庁)
広島	10月12日 9時～17時	教務支庁	下倉理香	082-221-1144 (教務支庁)
秋田	10月20日 8時30分～15時	教務支庁	三ツ井倉三	018-834-5429 (教務支庁)